


※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

No. 30

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	シバ タ イチ ロウ			
氏 名	柴 田 一 郎			
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> ()			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又は プランづくり等	建築協定 地区計画 地域まちづくりルール 地域まちづくりプラン 景観協定 景観計画 まち普請事業 その他 ()			
市街地開発事業等	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 再開発 <input type="checkbox"/> 区画整理		
防災まちづくり等	まちの不燃化推進事業 共同建替え 防災マップづくり 耐震改修 狭あい道路整備 防災広場整備			
その他関心のある テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 防犯 <input type="checkbox"/> 商店街活性化 <input type="checkbox"/> 水・緑 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> アート <input type="checkbox"/> 地域交通 <input type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> 教育 その他 ()			
※得意とする支援の内容・関心のあるテーマを丸印で囲んでください（複数回答可）。該当するものが無い場合は、その他の欄に記入してください。				
所属するまちづくり支援団体				
※横浜市に登録されたまちづくり支援団体に所属している場合は、団体名を記入してください。				
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。
	再開発事業 コーディネート	横浜駅西口 (幸栄) 地区	平成 22 年 ～ 現在	「西口」のまちづくりの起点となる幸栄地区再開発を具現化すべく、準備組合活動の支援を行っています。権利者との個別面談や計画検討、市との協議を重ねる中でまちづくりの方向性を定め、都市計画(変更)決定の早期実現を目指しています。
	再開発事業 コーディネート	飯田橋駅 東地区	平成 23 年 ～ 現在	交通結節点である飯田橋駅の駅前地区において、広場や歩行者空間等を軸とした再開発を目指す、権利者主体のまちづくりを支援しています。協議会活動、準備組合設立、都市計画決定に向けた計画立案・権利者調整・行政協議等を一括して支援しています。

（注1）支援分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	再開発事業 コーディネート	長岡市大手通 中央東地区	平成 17 年 ～24 年	中心市街地活性化への起爆剤として再開発を目指したまちづくりを支援しました。協議会～準備組合～組合設立、権利変換、工事監理、住宅保留床の組合による直売、組合解散まで一連の検討・協議・権利者調整業務を行いました。
	再開発事業 コーディネート	調布駅北 第一A地区	平成 15 年 ～23 年	都市計画道路の整備を発端とする再開発事業の推進を支援しました。準備組合活動、再開発の都市計画決定に向けた諸活動、事業計画作成、組合設立支援、これらに伴う権利者調整業務を行いました。（担当替後、平成 27 年に再開発ビル竣工）
	再開発事業 コーディネート	有楽町 駅前地区	平成 12 年 ～20 年	大型商業施設を核とする再開発事業の推進を支援しました。都市計画(変更)決定に向けた検討、事業計画作成、権利変換計画作成、価額確定、清算等の各業務を担当しました。
	再開発事業 コーディネート	大 宮 鐘塚A地区	平成 11 年 ～16 年	国鉄清算事業団の跡地利用を含む再開発事業の推進を支援しました。都市計画(変更)決定に向けた検討、事業計画作成、権利変換計画作成、価額確定、清算等の各業務を担当しました。

まちづくりに関するPR

地元を離れ、憧れの地「横浜」で学生生活を送る中で、「まち」のあり方に興味を持ち、是非まちづくりに関わっていきたくと、専攻分野とは異なる現在の仕事に就きました。以来、様々な人々に出会い、多岐にわたる知見に触れ、まちづくりの一端を担うための見識を少しずつではありますが広めて参りました。第二の故郷である横浜がより良いまちになっていくために、皆さんのまちづくりの中で、微力ながらこれまでの蓄積を最大限に還元していきたいと思っております。